

# ひたちなか市 自治会連合会だより

第62号

発行日/平成29年8月25日  
発行者/ひたちなか市自治会  
連合会広報委員会  
TEL 273-0111  
FAX 271-0851

## 誰もが健やかに過ごせる 地域社会の実現

### 自治会連合会総会を開催

平成29年度自治会連合会総会が、4月25日(火)、ホテルクリスタルパレスにて開催されました。飯島光則会長(弥生西谷津自治会長)に続き来賓挨拶の後、佐藤大氏(堀口自治会長)が議長に選出され、平成28年度の事業報告と決算報告並びに平成29年度の事業計画と予算を審議し、いずれも議決承認されました。さらに、行政からの諸連絡の後、本間市長より自治会長に市政協力員の委嘱が行われ、退任される自治会長に感謝状が贈呈されました。

自治会連合会は各自治会と連携、協調し、誰もが健やかで安心して暮らせる地域社会の実現に取り組んで参ります。

本年度の主な事業は次のとおりです。



#### 組織基盤の確立

- 自治会未加入者や高齢化により脱会する方への対策を推進する。
- 自治会活動アンケートや情報交換会の結果を検証し、加入促進や継続加入を推進する。



#### 自治会活動の推進

- 自治会運営の安定と健全化のために役割や財源について見直しを検討する。
- 自治会活動をより広く、多くの人たちに知ってもらう啓発に努める。
- 市、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会と連携し、地域福祉社会の実現を図る。

#### 防犯・防災・交通安全対策

- 警察署などの関係機関と連携を密にして防犯活動の強化に努める。
- 災害に対して市・自主防災会と連携し、防災機能の向上が図れるよう支援する。
- 市交通安全対策本部事業への積極的な参加に努める。

#### 市などへの提案・要望

- 自立と協働のまちづくり基本条例における行政と自治会の役割分担に基づき、単位自治会共通の課題解決に向けた提案や要望を行う。



話し合いの内容は、自治会未加入世帯、役員の高齢化・なり手不足、防災・防犯対策、活動費の捻出や行政との関係など多岐にわたりました。それぞれの自治会における活動状況や課題を共有し合い、自治会運営の在り方を考える良い機会となりました。

1月26日、ホテルクリスタルパレスにおいて、平成28年度自治研修懇話会情報交換会を開催しました。

平成28年度  
自治研修懇話会  
情報交換会



# 自治会連合会の活動

## 新任自治会長研修会に参加して

高野宿自治会 会長 友部 孝雄

5月17日（水）に新任自治会長を対象とした研修会に参加し、自立と協働のまちづくりをはじめ、自治会に関する事業や補助金等の説明を受けました。項目の多さは想定以上であり、改めて責任の重さを痛感し、焦らずにできることから着実に取り組んでいこうと思いました。

当自治会の課題は山積していますが、今年度の重点取組として6つの専門グループを編成し、提案事項等をまとめ、優先項目から解決に向けて行動したいと考えています。そのひとつ「コミュニティ広場・活用促進」を紹介します。当自治会には、地域住民が集う広場が2箇所あり、どちらも面積は約2,600㎡で全面芝地です。ひとつは夏祭り専用の「お祭り広場」で大好評です。もうひとつの広場が、諸事情によりここ数年未整備で利用者に不便をかけているのが現状です。財政事業の克服や地域の方々の協力のもと、早急に整備に取り組み、いざという時の「地域の避難場所」として周知徹底してまいる所存です。



平成29年度

## 新任自治会長を紹介

下記の方々が新たに自治会長に就任しました。（敬称略）

- |                  |                |                |
|------------------|----------------|----------------|
| ● 渡邊 重行（勝倉）      | ● 関 正俊（津田東）    | ● 桑原 俊男（向野）    |
| ● 清水 芳徳（佐和）      | ● 仲田 明（稲田）     | ● 清水 良直（高野小貫山） |
| ● 染谷 満也（高野原）     | ● 友部 孝雄（高野宿）   | ● 馬場 信一（共栄町）   |
| ● 武藤 正昭（勝田中央）    | ● 鴨志田 功（外野）    | ● 大塚 道夫（はしかべ）  |
| ● 須藤 光夫（堂端）      | ● 川上 建造（柳沢美田多） | ● 櫻井 志呂美（和田町）  |
| ● 横須賀 益美（部田野小谷金） | ● 宮本 弘一（十三奉行）  |                |

## 「NPO法人夢空間 松代のまちと心を育てる会」

自治運営研修視察  
7月4日 長野県松代

台風3号の接近で小雨降る中、真田十万石の城下町として栄えた信州松代において、自治運営研修視察を行いました。

松代地区は、所有する歴史と文化、人と自然を活用してまちの活性化を図ろうと立ち上がり、行政の応援を得て、住民主体のまちづくりを活発に行っております。

研修においては、NPO法人の事務局長から会の設立と発足の経緯・目的、まちづくりの動向、現在実施している事業について事例発表がありました。その後3班に分かれて町内を散策しました。

この地区では、来訪者へのもてなしの心を醸成するため、行政が策定した「信州松代まるごと博物館構想」の実現を目指しています。住民による組織づくりやまち歩きルートマップ等の作成による観光情報の発信、ワークショップの開催、次世代の育成など行政との協働による意欲的な住民主体のまちづくりはとても参考になりました。

研修内容を、これからの地域づくりに活かしていきたいと思えます。







## 自治連コラム

## 犯罪の抑止 ～地域の暗さを解消～

各自治会が設置している「防犯パトロール実施中」などののぼりをよく目にします。

自治会の防犯活動は、犯罪や事故・災害の被害を未然に防止し、住民の安全意識を高めます。活動に参加することで、地域の連帯とコミュニティが生まれます。また、地域の犯罪抑止を向上させます。

犯罪が多く発生する地域には、「地域の暗さ」があると思います。

一つは、街路灯や防犯灯が少なく暗いことです。二つ目は、地域に元気がなく、住民がお互いに、よそよそしいことです。つまりコミュニティが成り立っていない暗さです。

防犯灯は、市からの補助金の交付を受け、自治会が設置しています。この電気料金も市からの補助金はありますが、自治会の負担も大きいことで、課題となっています。負担を軽減するため、蛍光灯からLED防犯灯への変更も進められています。

各自治会では、子どもの登下校の見守りや青色パトロールなどを実施しており、犯罪の抑止力として大きな役割を果たしています。

「安全安心な地域づくりは、自分たちで」の地域の連帯と自覚が大切です。



## 自治会の取り組み

### 防犯灯のLED化について



近年、省エネや節電意識の高まりにより、防犯灯を全灯LED化した自治会や、計画的にLED化に取り組む自治会が増えています。

平成29年5月末現在、市内に設置されている防犯灯の約8,600灯のうち、約41%がLED化されました。

#### ● 一般的な蛍光灯とLED灯の特徴比較 ●

消費電力 約22W → 約8W  
【約1/3】

料金区分 40VA → 10VA  
【2ランク下の契約】

年間電気料 3,000円 → 1,560円  
【約50%減】

光源寿命 約8,500時間 → 約60,000時間  
【約7倍】

※ 東京電力エナジーパートナー（株）「電気供給約款」  
公衆街路灯A（平成29年4月1日実施）による。

## 自治会（長）の活動報告について

自治会（長）は、地域が抱える課題を解決するため、まちづくり市民会議に参加しています。二中学区まちづくり市民会議に参加している津田第一自治会 佐藤 新平会長にお話を伺いました。

今号より、自治会（長）の活動内容をシリーズでお知らせします。



活発な意見交換の様子

### ■ 内容

二中学区まちづくり市民会議では、「地域における高齢者対策」を協議しています。自治会を超えた単位で、地域の共通課題について共有するよう取り組んでいます。

市民会議には考えや立場が違う方が参加しているので、視野が広がります。出来るだけ多くの方から意見を聞くことを心がけています。

今後も地域の共通課題について、市民会議で継続して議論していくことが必要です。二中学区は地域の絆が強いので、自治会としても地域の交流が深められるような事業を進めていきたいです。

## サロン活動

### 1 中学区

1 中学区では、「高齢者や子育て家庭の居場所がまだまだ少ない」との地域の声があることから、平成25年度から高齢者サロンと子育てサロンをそれぞれ月2回、1中地区コミュニティセンターでサロン活動を実施しています。

特に、高齢者サロン「楽々亭」は、「健康体操」「お手玉カーリング」などのゲーム、ギターの伴奏による「昔の歌を唄う会」そしてワンコイン(100円)カレーの食事会で構成され、毎回約25人が参加し、好評を得ています。



## 除草作業(前期)

### 常葉台

当自治会(370世帯)では、自分たちのまちは自分たちの手で“きれいにしよう”の精神で、前・中・後期の3回に分け、除草作業を行っております。1期4週にわたり日曜日の午前中に実施し、参加延べ人数は1,000人を超え、約8割以上の参加率を有しています。自治会のイベントとしては、秋のふれあいまつりに次いで大きなイベントであり、会員同士のコミュニケーションづくりに役立っています。



## いきいきサロン

### 湊本町

いきいきサロンは、空き家を活用した、合唱・カラオケ・輪投げやおしゃべりなど多彩なプログラムで構成され、笑顔があふれています。

6月13日(火)は、先生の指導のもと、シルバー体操を行いました。シルバー体操は、椅子に座っての動作が多く、「無理をしない」がモットーです。家庭に帰ってからの復習もあります。

この他にも、お茶会やみなと八朔まつりの練習などのサークル活動や海浜公園にネモフィラを見に行くなどの高齢者外出支援事業も行っています。



## ときめき元気塾

### 田中町

6月5日(月)、那珂湊警察センター会議室において15名が参加し、元気アップ体操を行いました。

ときめき元気塾は立ち上げて12年目となり、保健推進員2名の指導のもと、毎月2回実施しています。

内容は、首・肩・腰の筋力維持、パタカラ発声の舌筋運動、片足立ちバランス、タオル球の相手呼びかけ捕りなどさまざまです。また、各月の2回目は、磯良ビル3階において実施し、階段登り運動も行います。毎回、皆で楽しく若返りに向けて励んでいます。



## 編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

安心・安全まちづくり防犯パトロールを始め、公園清掃や地域の環境保全など多岐にわたり自治会活動へのご協力に感謝申し上げます。近年は少子高齢社会そして人口減少社会となり、ますます地域の絆が大切となっております。そのような中で自治会未加入者の増加が自治会活動の大きな課題の一つとなりつつあります。自治会未加入者も地域住民の一員ですので、隣近所の会員さんの積極的な口添えが加入促進の大きな力になると思われます。地域の絆を深めるため、会員相互の協力により一歩一歩前進してまいりましょう。(連合会広報委員会)

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/4/5/index.html>